

インターバンクの声（2015年8月14日）

今週の米経済指標は、金曜日に生産者物価指数、鉱工業生産、ミシガン大学消費者信頼感指数などの発表を残してはいるものの、昨夜の小売売上の発表でおおよそ一区切りついた。小売売上は、市場予想通り前月比で0.6%増だったが、前月分が▲0.3%から0.0%へ上方修正され、消費者主導の景気回復が堅調に進んでいることが確認された。コア売上高が若干市場予想よりも低かったが、自動車・同部品が先月から大幅に回復しているのが目立った。米石油業界にとっては頭が痛い部分ではあるが、原油価格の下落＝ガソリン価格低下は燃費効率を考えざる得なくなっていた米消費者にとっては好材料。徐々に燃費を無視して排気量も車体も大きいものが売れているようだ。自動車関係の伸びが強い時には米経済が強いとされていたのはふた昔も前のことかも知れないが、このトレンドが続くのかどうかは一応チェックし続けたほうが良さそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。